

# ONE

**OCEAN NETWORK EXPRESS**

2025年度第3四半期決算説明資料

2026年1月30日

1.	2025年度第3四半期決算概要	P.3
2.	主要航路別積高・消席率・運賃指数	P.4
3.	2025年度通期見通し	P.5
4.	足元の事業環境の変化への対応	P.6
5.	参考資料（船隊構成、航路構成、新造船発注残）	P.7
6.	Appendix 北米航路運賃・荷動き推移	P.8

# 1. 2025年度第3四半期決算概要

## □ 要点

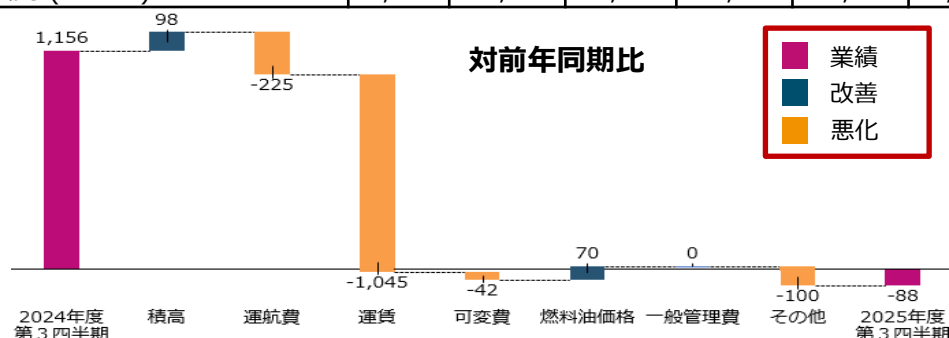
船腹供給の増加が続く中、北米向けを中心に荷動きが伸び悩み、短期運賃市況が前年同期比で下落した。この結果、第3四半期は88百万US\$の赤字。

- アジア－北米航路は、上期における前倒し出荷の反動から荷動きが鈍化。アジア－欧州航路の荷動きは当初伸び悩むも、その後は緩やかに回復した。
- 新造船の投入が続いたことで船腹供給が増加し、需給が軟化した。
- 短期運賃水準は前年同期と比べて低水準で推移した。

## □ 2025年度3Q実績並びに対前年同期比較

(単位：百万US\$)

	2024年度					2025年度					3Q 対前四半期比		3Q 対前年同期比	
	1Q 実績	2Q 実績	1H 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	1H 実績	3Q 実績	1Q-3Q 実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	4,211	5,864	10,075	4,846	14,921	4,049	4,455	8,504	4,074	12,578	-381	-9%	-772	-16%
EBITDA	1,217	2,386	3,603	1,583	5,186	616	881	1,497	536	2,033	-345	-39%	-1,047	-66%
EBIT	667	1,865	2,532	1,049	3,581	38	282	320	-84	236	-366	-130%	-1,133	-108%
税引後損益	779	1,999	2,778	1,156	3,935	86	285	371	-88	283	-373	-131%	-1,244	-108%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$594	\$585	\$589	\$557	\$578	\$535	\$518	\$526	\$489	\$514	-\$28	-5%	-\$68	-12%
総燃料消費量 (K MT)	900	969	1,869	950	2,820	950	1,005	1,955	998	2,952	-7	-1%	47	5%
総積高 (K TEU)	3,142	3,291	6,433	3,246	9,679	3,165	3,323	6,488	3,245	9,733	-79	-2%	-1	0%



- 積高 : 積高は減少するもカーゴミックスの変化で損益改善。
- 運航費 : 船舶費用と港費の増加。
- 運賃 : 船腹の供給増加による運賃下落。
- 可変費 : 空コンテナ回送費用上昇による増加。
- 燃料価格 : 対前年同期比で下落。
- 一般管理費 : 対前年同期比で横ばい。

## 2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

航路別積高・消席率		2024年度						
		1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績
北米往航	積高 (千TEU)	673	730	1,403	713	633	1,345	2,748
	消席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
欧州往航	積高 (千TEU)	434	451	886	418	426	845	1,730
	消席率	100%	97%	98%	93%	90%	92%	95%

2025年度			
1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績
672	711	1,383	678
94%	91%	92%	90%
456	501	957	444
90%	91%	91%	81%

北米復航	積高 (千TEU)	290	281	571	271	254	525	1,096
	消席率	43%	39%	41%	40%	37%	38%	40%
欧州復航	積高 (千TEU)	245	244	490	237	249	487	976
	消席率	48%	45%	46%	47%	44%	46%	46%

217	206	423	230
27%	24%	26%	30%
247	260	507	264
35%	36%	36%	36%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2024年度						
		1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績	4Q実績	下期実績	通期実績
北米往航		137	195	167	159	146	153	160
欧州往航		201	293	248	218	204	211	230

2025年度			
1Q実績	2Q実績	上期実績	3Q実績
131	132	131	119
154	164	160	142

- **積高・消席率:** 北米往航の第3四半期の積高は、上期の前倒し出荷からの反動により前四半期比と前年同期比でともに減少した。欧州往航では、国慶節直後は積高が落ち込むも、その後は堅調に推移。船腹供給の増加により、消席率は北米・欧州とも低い水準で推移した。
- **運賃指数:** 第3四半期の短期運賃は、船腹供給の増加により前四半期比で下落した。

# 3. 2025年度通期見通し

## □ 要点

- 第3四半期の荷動きは低調であったが、第4四半期に回復を見込む。
- 第3四半期の運賃水準は想定より軟調に推移するも、第4四半期には緩やかな上昇を見込む。
- 本予測は、引き続き船舶が喜望峰経由で運航を行う見通しに基づいている。紅海情勢については引き続き注視する。
- 機動的かつ効率的なオペレーションを維持するとともに、顧客への高品質なサービスの提供に注力していく。

## □ 2025年度通期見通し

(単位：百万US\$)

	2025年度 (前回予想)			2025年度 (最新予想)					通期 (対前回予想)	
	上期実績	下期予想	通期予想	上期実績	3Q実績	4Q予想	下期予想	通期予想	増減	増減 (%)
売上高	8,504	7,996	16,500	8,504	4,074	4,022	8,096	16,600	100	1%
EBITDA	1,497	1,103	2,600	1,497	536	667	1,203	2,700	100	4%
EBIT	320	-70	250	320	-84	64	-20	300	50	20%
税引後損益	371	-61	310	371	-88	27	-61	310	0	0%

	2024 年度 実績			通期(対前年)	
	上期	下期	通期	増減	増減 (%)
売上高	10,075	9,158	19,233	-2,633	-14%
EBITDA	3,603	2,364	5,966	-3,266	-55%
EBIT	2,532	1,272	3,804	-3,504	-92%
税引後損益	2,778	1,465	4,244	-3,934	-93%

## 4. 足元の事業環境の変化への対応

### 発生事象

- 喜望峰経由の迂回ルート利用が続いた。
- 新造船の継続的な投入で供給が増加し、需給バランスは全体として軟化した。
- アジア発北米向け航路の10・11月の荷動きはそれぞれ前年同月比で減少。年度前半に関税発動を見越した出荷前倒し需要が集中し、その後は様子見の姿勢が広がったことで、需要の鈍化に繋がった。アジア発欧州向け航路は10月の荷動きが前年同月比で減少するも、その後は年末にかけて堅調に推移した。
- 米通商代表部（USTR）が予定していた入港料措置の導入が2025年11月から1年間延期された。



### ONEの 対応

- イールドマネジメント強化および収益最大化を目的として、貨物ポートフォリオの継続的な見直しを実施。
- スケジュール順守率の安定化を図るべく、一部サービスにおいて寄港地の見直しやローテーションの変更を実施。
- 顧客への影響を最小限に抑えるべく、米国の関税政策やUSTRの動向を含む不確実な情勢を引き続き注視。
- さらなるサービス体制の強化と安定化に向け、2026年度におけるプレミア・アライアンスの東西サービス体制を公表。



**荷動きに応じた柔軟な配船およびコンテナフローの最適化によりオペレーション効率を最大化**

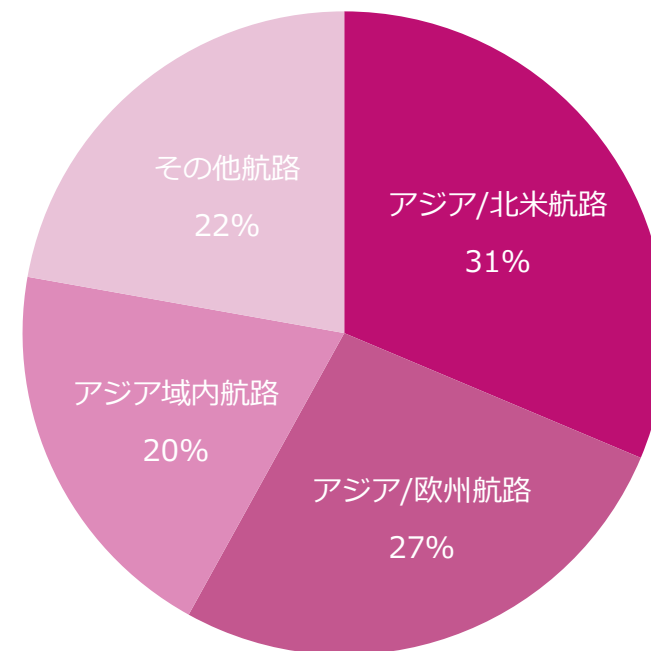
## 5. 参考資料（船隊構成・航路構成・新造船発注残）

### □ 船隊構成

Size			1)2025年 9月末時点	2) 2025年 12月末時点	2)-1)
20,000 TEU >=	Capacity (TEU)		264,600	264,600	0
	Vessels		12	12	0
10,500 TEU - 20,000 TEU	Capacity (TEU)		747,088	763,052	15,964
	Vessels		53	54	1
9,800 TEU - 10,500 TEU	Capacity (TEU)		100,474	170,686	70,212
	Vessels		10	17	7
7,800 TEU - 9,800 TEU	Capacity (TEU)		346,492	355,264	8,772
	Vessels		39	40	1
6,000 TEU - 7,800 TEU	Capacity (TEU)		240,665	246,706	6,041
	Vessels		36	37	1
5,200 TEU - 6,000 TEU	Capacity (TEU)		39,048	33,112	-5,936
	Vessels		7	6	-1
4,600 TEU - 5,200 TEU	Capacity (TEU)		78,068	78,068	0
	Vessels		16	16	0
4,300 TEU - 4,600 TEU	Capacity (TEU)		62,869	62,869	0
	Vessels		14	14	0
3,500 TEU - 4,300 TEU	Capacity (TEU)		66,734	66,734	0
	Vessels		16	16	0
2,400 TEU - 3,500 TEU	Capacity (TEU)		103,582	104,416	834
	Vessels		38	38	0
1,300 TEU - 2,400 TEU	Capacity (TEU)		23,599	22,159	-1,440
	Vessels		14	13	-1
1,000 TEU - 1,300 TEU	Capacity (TEU)		16,073	14,996	-1,077
	Vessels		15	14	-1
0 TEU - 1,000 TEU	Capacity (TEU)		936	1,872	936
	Vessels		1	2	1
Total	Capacity (TEU)		2,090,228	2,184,534	94,306
	Vessels		271	279	8

### □ 航路構成

(2025年度3Q 往復スペースの構成  
アロケーション)



### □ 新造船発注残（新造備船含む）

	2025年 9月末時点	2025年度 3Q デリバリー	2025年度 3Q 新規発注	2025年 12月末時点
新造船発注残 (隻数)	51	1	18	68

# 6. Appendix 北米航路運賃・荷動き推移

